

平成 29 年 度

事業 計画
収 支 予 算

(自 平成 29 年 4 月 1 日)
至 平成 30 年 3 月 31 日)

東京土木施工管理技士会

平成 29 年度事業計画

I. 基本方針

昨年は、多くの皆さまのご支援により、設立 20 周年を迎えることができました。これまでの技士会の歴史に鑑みつつ、更なる発展を目指して、今年度は新たなスタートの年としたいと思います。

現在、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて社会インフラの整備や都市の再開発が進められており、首都高晴海線、東京港トンネルをはじめ、江東幹線や連続立体交差事業等の工事が進められております。

このような中、毎年のように激甚化する自然災害が全国各地で発生しており、国土の強靱化が急がれるところです。

人々が安心安全で快適に暮らすためのインフラ整備ならびに自然災害への減災・防災を担っている建設業ですが、とりわけ土木技術者が担う責任と期待は大きく、我々はこれに応えていかなければなりません。

しかしながら、高齢化が進む一方、若年者の建設業離れから、人材の確保・育成・定着が喫緊の課題となっております。

当会では、夢の持てる建設業、魅力ある建設業を目指し、優秀な技術者の確保を支援するため、引き続き合同企業説明会「みんなの建設業☆就職フェスタ」を開催するほか、若手技術者の育成や会員の技術力向上のための各種技術講習や現場見学会等をはじめ、資格取得を支援するため「1 級土木施工管理技士受験準備講習会（学科・実地）」に加え、「2 級土木施工管理技士受験準備講習会（学科・実地）」を開催いたします。

このほか、広く一般の方々に土木について理解を深めていただく活動に努めるとともに、会員の増強につながる事業を推進してまいります。

Ⅱ. 事業計画

1. 技術力向上に関する支援事業

- | | |
|--------------------------|------|
| (1) 各種研修会・講習会の実施 | |
| ① 若年技術者のための支援〔共催〕 | 7回程度 |
| ② 土木施工管理技士資格取得のための支援〔共催〕 | 7回程度 |
| ③ 基礎的な技能習得のための支援 | 6回程度 |
| ④ 総合的な技能習得のための支援 | 3回程度 |
| ⑤ 経営者のための支援〔共催〕 | 1回程度 |
| (2) 土木工事現場の視察 | 3回程度 |
| (3) 異業種他分野等各種施設の視察 | 1回程度 |

2. 広報事業

- (1) 若年者への魅力ある建設業のPR
- (2) 一般向けの理解促進に関する事業
- (3) 機関誌「DOBOKU 技士会 東京」の発行（年4回）
- (5) 土木施工管理に関する情報収集及び提供

3. 調査研究

- (1) 現場見学受入れ先調査
- (2) 事業運営に必要な各種調査の実施

4. 表 彰

- (1) 優良技術者表彰の実施
- (2) 各種表彰候補者の推薦

5. 連 絡 協 議

- (1) 関係行政機関・関係団体との連絡協議

6. 会 議

- (1) 総 会
 - ① 定時総会
 - ② 臨時総会
- (2) 理事会
- (3) 監事会

7. 委 員 会

- (1) 総務委員会
- (2) 事業運営委員会
 - ① 講習会グループ会議
 - ② 現場視察グループ会議
 - ③ 情報・広報グループ会議

平成 29 年度 講習会事業計画

- | | |
|---|-------|
| ①若年技術者のための支援 | 7 回程度 |
| ・ 建設業新入社員研修会〔共催〕 | |
| ・ 新入社員半年フォロー研修会〔共催〕(3 回) | |
| ・ 若手社員(3~5 年次)フォロー研修会〔共催〕 | |
| ・ 若手技術者コミュニケーション能力強化講習会〔共催〕 | |
| ・ <u>若手技術者施工技術基礎講習会</u> | |
| ②土木施工管理技士資格取得のための支援 | 7 回程度 |
| ・ 1 級 学科試験 直前受験準備講習会 2 日間講習〔共催〕(1 回) | |
| ・ 1 級 実地試験 受験準備講習会 2 日間講習〔共催〕(2 回) | |
| ・ <u>2 級 学科試験 受験準備講習会 2 日間講習〔共催〕(2 回)</u> | |
| ・ <u>2 級 実地試験 受験準備講習会 1 日講習〔共催〕(2 回)</u> | |
| ③基礎的な技能習得のための支援 | 6 回程度 |
| ・ コンクリート施工技術講習会〔共催〕 | |
| ・ 仮設構造物の設計講習会 | |
| ・ 安全管理講習会 | |
| ・ 環境管理講習会 | |
| ・ 建設業法等講習会 | |
| ・ <u>橋梁維持管理基礎講習会</u> | |
| ④総合的な技能習得のための支援 | 3 回程度 |
| ・ 現場管理スキルアップ講習会 | |
| ・ 現場代理人の折衝力強化研修会〔共催〕 | |
| ・ 総合評価に関する講習会 | |
| ⑤経営者のための支援 | 1 回程度 |
| ・ 建設業取引適正化説明会〔共催〕 | |

* 下線がある講習会は新規テーマ

平成29年度収支予算

(平成29年 4月 1 日から平成30年3月31日まで)

I. 収入の部

(単位:円)

勘定科目		29年度予算額	28年度予算額	増減	備考
大科目	中科目				
会費収入		34,100,000	33,900,000	200,000	
	個人会費	400,000	400,000	0	
	法人会費	32,700,000	32,500,000	200,000	
	賛助会費	1,000,000	1,000,000	0	
入会金収入		200,000	200,000	0	
	入会金収入	200,000	200,000	0	
事業収入		4,200,000	4,000,000	200,000	
	講習会収入	4,200,000	4,000,000	200,000	
記念事業基金取崩収入		0	8,000,000	△ 8,000,000	
	記念事業基金取崩収入	0	8,000,000	△ 8,000,000	
雑収入		300,000	100,000	200,000	
	雑収入	300,000	100,000	200,000	
当期収入合計 (A)		38,800,000	46,200,000	△ 7,400,000	
前期繰越収支差額		9,320,000	15,420,000	△ 6,100,000	
収入合計 (B)		48,120,000	61,620,000	△ 13,500,000	

Ⅱ. 支出の部

(単位:円)

勘定科目		29年度予算額	28年度予算額	増減	備考
大科目	中科目				
事業費		29,050,000	39,750,000	△ 10,700,000	
	給料手当	10,500,000	10,500,000	0	
	福利厚生費	1,560,000	1,560,000	0	
	旅費交通費	50,000	50,000	0	
	通信運搬費	1,050,000	1,150,000	△ 100,000	
	会議費	1,150,000	1,250,000	△ 100,000	
	講師謝金	1,500,000	1,500,000	0	
	研修講習費	2,100,000	2,100,000	0	
	資料印刷費	2,000,000	2,000,000	0	
	調査視察費	900,000	1,200,000	△ 300,000	
	広報費	4,600,000	4,800,000	△ 200,000	
	行事費	1,800,000	1,800,000	0	
	負担金	1,790,000	1,790,000	0	
	記念事業費	0	10,000,000	△ 10,000,000	
	雑費	50,000	50,000	0	
管理費		9,060,000	9,060,000	0	
	給料手当	3,200,000	3,200,000	0	
	福利厚生費	720,000	720,000	0	
	旅費交通費	50,000	50,000	0	
	通信運搬費	400,000	400,000	0	
	備品消耗品費	350,000	350,000	0	
	賃借料	1,450,000	1,450,000	0	
	水道光熱費	560,000	560,000	0	
	総会費	2,300,000	2,300,000	0	
	雑費	30,000	30,000	0	
引当預金支出		1,000,000	1,000,000	0	
	退職給与引当預金支出	1,000,000	1,000,000	0	
積立預金支出		1,000,000	0	1,000,000	
	記念事業基金	1,000,000	0	1,000,000	
予備費		3,000,000	3,000,000	0	
	予備費	3,000,000	3,000,000	0	
当期支出合計 (C)		43,110,000	52,810,000	△ 9,700,000	
当期収支差額 (A) - (C)		△ 4,310,000	△ 6,610,000		
次期繰越収支差額 (B) - (C)		5,010,000	8,810,000	△ 3,800,000	